



令和3年度 歴史・文化に関する お問い合わせ

生涯学習課文化係は、日々、さまざまなお問い合わせを市民の方からいただきますが、中には歴史や文化に関するお問い合わせをいただくことがあります。お問い合わせに對し、「これはこうです」と明確に答えることができない場合がありますが、史資料が残っていないのですが、生活に根付いているために明文化されていなかったり…なかなかはっきり分からないことの方が多くが現状です。しかし、市民の方と一緒に串間の歴史・文化を発見し学んでいく楽しさがあります。今回は、令和3年度に実際に市民の方からいただいたお問い合わせの一部をご紹介します。ぜひ皆さんも、身の回りにある歴史や文化について疑問に思ったことや、また、ささいなものでも構いませんので、情報などございましたら、お気軽に文化係までご連絡ください。

洋の里」に隣接する祠は同じ日に祭礼がありますが、何か関係はありますか。

答：なぜ同じ日に祭礼があるのか不明ですが、祭礼が旧暦10月10日にあるという理由も謎です。

祠はいったん横において、はっきりと分かっている関連は、金谷神社とひで神様に共通するのは「足利義昭」です。義昭とは、足利三代將軍義満の第6子で、將軍の繼承争いに敗れ、櫛間院地頭の野邊盛仁の加護を求めて串間にやってきました。盛仁は、義昭主従を北方永徳寺にて手厚く保護したのですが、一方その行方を厳しく追及していた足利六代將軍義教（義満の第3子）が所在を突き止め、島津氏にその討伐を命じたことにより、飢肥城を守っていた新納忠続が永徳寺を攻めました。ついに嘉吉元（1441）年3月13日、義昭は近くの笑止田で自刃し、その首は京都に送られ、ご遺体は川に流されました。ご遺体は川にた場所に作られたのがひで神様と

伝わっています。義昭の死後、怪異が相次いで起こり、人々は義昭の怨念だと恐れ、櫛間院総奉行の藤原直久が祠を建てたのち、祠と同じ場所に島津忠朝によって明応7（1498）年5月15日に金谷神社が創建されたようです。

ひで神様と金谷神社が義昭に由来するものだということは分かりましたが、祠はどうでしょうか。もともと望洋の里には金谷城があったので、祠は金谷城由来であると考えるのが妥当です。

しかし、義昭の自刃の日と金谷神社創建の日は祭礼の日との関連が見られず、これら3つの施設の関連が不明瞭で謎が深まるばかりです。ただし、祭礼の日というのはおそらく、金谷神社は一度明治5（1872）年に串間神社に合祀しており、近代から始まった可能性は考えることができます。以上のことから、金谷神社とひで神様に関連はありますが、祠との関連が見つからず、祭礼は後世になって始まったのではないかと思います。

問③：江戸時代の串間において、伊勢参りや旅行の様子について教えてください。

答：江戸時代串間での伊勢参りや旅行について詳細は不明です。理由として串間市には、当時の旅行の様子を記した文献史料は少ないためです。しかし江戸時代は、各地には関所や番所が設置されていたため人々の移動が制限されており、そこを通るためには旅行の許可を得た通行手形が必要でした。そのため、あまり旅行をする機会ではなかったと考えられます。現状では唯一、大正15（1926）年に日本旅行を記念して作られた石碑が大平地区の聖神社内にあります。その石碑によると、中国地方→四国地方→近畿地方→高野山→伊勢神宮→皇居→日光山の旅順が記されています。そのため、串間市内で伊勢参りおよび旅行について明記されている最古のものは、前述した石碑となり、江戸時代の記述を発見することができません。

問④：大東にある「將軍社」は記紀（古事記・日本書紀）に伝えられる伊佐比宿禰／五十狹茅宿禰（神功皇后に反乱を起こした忍熊の王子・鷹坂皇子に、東国の兵を率いる將軍として参加したが、敗戦し近江で入水した）に関係のある石祠ですか。

答：聞き取りを行ったところ現在は農耕の信仰がある施設のように、五十狹茅宿禰の伝承は残っていません。市内の現在確認できた將軍社（將軍神社、大將軍社含む）は、12力所（西方木代、塩町、西方下田口、西神社、上町1丁目、北方谷ノ口、大東石木田、大東高則、大東大平、北方屋治、串間神社、市中福良）です。現在も將軍講講とは、同じ信仰をもつ者や職業集団、経済上の相互扶助を目的とする人の集まりのことが残っている地区もあります。將軍社の周辺は田畑が広がり、農業を共同で行っていた人たちの信仰の表れであると考えられます。以上のことから、現段階では五十狹茅宿禰に関連する施設であるとはいえませんが、まだまだ分からないこともたくさんありますので、これからも調べてまいります。

問 生涯学習課文化係
☎55-1163



うたごよみ

「短歌」串間短歌会選

新緑の都井の岬を母馬に
肌すりよせて春駒歩めり

【みやぎ神話のふるさと短歌大会】選考賞作品

本城 島田 洋子

会ひたいと思ふところに

「春になれば」

今わたくしがつぶやく言葉

西小路 坂本 不二子

さりげないあなたの手助け

期待して

使えないふりしたセルフレジ

大平 城 敏

若きらのバッティングの音

まっ青な

二月の空に高く響けり

上小路 吉開 美穂

「戦争と平和」を読みし少女の日
ロシアは深き知性の国なり

霧島 清水 しづ子

うたごよみに掲載する写真を募集しています。
まちの魅力を再発見できる写真のご応募をお待ちしています。詳しくはこちら▶

問 総務課秘書広報係 ☎72-4559

